



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2011 / 2012)

- 国際会長 「とにかくやろうー成せば成る」
- アジア会長 「とにかくやろうー成せば成る」
- 西日本区理事 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
- 中部部長 「先ず一歩ー楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげようー」
- 名古屋クラブ会長 「もういっちょ皆でがんばって 楽しく充実した例会を」

2011 ~ 2012 11 月 号 (No777)

11 月例会プログラム

と き：2011年11月9日(水) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.

ところ：名古屋 YMCA

司 会 岩田 鑲一君

開会宣言 会 長 渡辺 真悟君

ワイズソング

食前感謝

食 事

プログラム

「官民のステップ・アップ型協働を
展開する堀川 1000 人調査隊」

1000 人調査隊事務局長 服部 宏氏

諸報告

ハッピーバースデー

ドライバースピーチ 川口 恵さん

閉会宣言 会 長 渡辺 真悟君

中国に注目

塩 田 保

先日、中国大使館公使のレクチャーを拝聴する機会がありました。達者な日本語で中国について色々な話題を明快に話されて、大国中国の自信あふれる姿を見るようでした。

お話の中で、私が少しショックに思ったり、また考え込まされた“さわり”をご紹介します。

改革後の中国の急速な経済発展の恩恵をうけて、今や富裕層と呼ばれる人達が約三億人程度に達したとのお話。この中に豪邸、別荘、高級欧米車が当たり前のトップクラスから、中産階級も含めてのことと思いますが、それにしてもアメリカの総人口よりも多くて、日本の人口の三倍に近い数の人々が巨大な市場を作り、旺盛な消費活動を行っている姿です。今まで世界が経験した事がない様な大きなスケールとパワーが今後周辺のアジアにどのような影響するかなどを考えると私は少し恐ろしさを感じました。

急激な発展の反面として、社会全般にモラルの低下が深刻な問題となる中、孔子孟子の古来の教えを学ぶことが提唱され、「国学の継承」として各地大学に専門学部を設置する動きが広がり、天安門広場に孔子碑が建てられたとのことです。政府の宗教政策に何かの変化を期待できるかも知れません。バブルの崩壊が近い将来に起こる懸念についての質問には貧富格差の是正が国策として進められ、また毎年 400 万の大学新卒が社会人に加わるなど、長期に成長が持続すると自信に溢れたお話でした。

私はバブルは必ず崩壊するとの歴史の教えを信じていますが、中国から目が離せませんね。

第 2 例会

と き：2011年11月15日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

ところ：名古屋 YMCA

プログラム：12 月例会について、クラブ役員選考他

会 長 渡辺真悟 書記 平野美郎 千賀 将
副 会 長 五島八郎 会 計 川口 恵 塩田 保
プリテン 久保田 平野 伊左治 深谷

10月クラブ出席		B	F	10 月 個人出席						第 一 例 会 (10/11)		
在 籍	27名	10 月 累 計 (7 ~ 10 月)	切手	110pt	青 木	木 本	○	中 野	◎	メネット 飯田 伊左治 尾関 加藤(朱) 五島 西村		
第 1 例会	18名		現金	0pt	飯 田	○	久保田	◎	成 瀬	◎	六甲部部会 (10/8) 成瀬 平野	
メネット	6名		小計	110pt	伊左治	○	五 島	◎	西 村	○	根ノ上まつり (10/10) 渡辺 飯田 木本 加藤(明)	
第 2 例会	10名			尾 関	○	小 谷	○	平 野	◎	相馬	川本	メネット 飯田
メネット	0名		切手	350pt	岩 田	○	塩 田	○	深 谷	◎	瀬戸三陸部部会 (10/15) 成瀬 平野	
ゲスト・ピシター	0名			小 尾	M	尾 関	○	鈴 木	功	水 谷	◎	びわこ部部会 (10/16) 成瀬 平野 渡辺 谷川 川口
メーキャップ	1名		現金	7000pt	加藤明	◎	千 賀	◎	渡 辺	◎	四日市チャリティーコンサート (10/20) 渡辺 相馬 成瀬 平野	
出 席 率	74.1%			加藤晃	◎	相 馬	◎	谷 川	○	尾関	五島 相馬 谷川 西村	ふるさと交流会 (10/29) 尾関 五島 相馬 谷川 西村
メ ネット 会	6名		累計	7350pt	川 口	○	谷 川	○	平野	◎	メネット 尾関 五島 平野	
ゲスト・ピシター	0名			川 本	◎	寺 田	◎	コメット 平野	◎	YMCA 大会 (10/29 ~ 30) 成瀬 中野		
											○第 1 〇第 2 ◎第 1・第 2 Mメーキャップ	

11月 第一例会 スピーチテーマ「堀川について」

名古屋の中心を流れる堀川は、名古屋城築城の際、物流のための水路として、徳川家康が福島正則に命じて開削されました。その後も運河として機能するとともに市民に愛されて来ました。しかし高度成長期をピークに汚

染がすすみ「ドブ川」と認識され人々は背をむけました。

昭和60年頃から始まった堀川再生事業とともに市民の関心も徐々に高まって来ました。

関心をもつ市民がともに連携し、「堀川1000人調査隊」へと発展しました。調査隊は、官民協働の先進事例としても全国から注目を集めています。

■■■ 第1例会レポート ■■■

とき 2011年10月13日(水) 18:30～20:30

ところ 名古屋YMCA

今月は、老舗料亭“河文”社長・林 左希也氏の卓話「江戸の料理と河文の歴史」を真に興味深く拝聴しました。河文の屋号は創業者・河内文左衛門(代々襲名・当代12代目)創業は名古屋城築城の頃。店は名古屋駅南方、広井。元禄時代、既に創立50年の記録有り。江戸前半の顧客は武家で男性が袴姿で給仕。半ばに商家も使用。女性の給仕はずっと後。川魚中心の料理。まだ料理屋で食べる習慣がなかった。テレビ局の依頼で「正月の殿様料理」再現の際、材料のみの記録ではかなり豪華な本膳料理だったが、素材は鮑と伊勢海老が高いくらいで大根や芋・蕪など野菜中心。生ものは無く茶色で、美味しそうに見えなかった。粗末な材料が主で、腐らない、手間のかからない物。例えば田作りの五段盛り等。名古屋城に繋がった井戸が20余とか、乃木希典将軍が芸者に頭を下げさせた女将、来日中の高官方のお話。将軍家の「鶴」にちょっと遠慮して、武家が雉肉を食したのが特長的。

調味料の発展が詳しく語られ、塩漬けの発酵から溜まり醤油、米酢、麴酢、うす口醤油、味醂など、調味料の発展に伴い、江戸中期に料亭料理が定着した。畑の肥料故か、日本料理では葉物野菜を生で食べない習慣とのこと。

最後に、輸送や冷凍技術が発展した現代、「子どもたちに食の旬・季節物を知って食べてほしい。」と食育について力説されました。名古屋ロータリークラブ新世代奉仕副委員長のご活躍をも想い、一同心から感謝の拍手を贈りました。

(相馬 静香)



.....

■■■ 第2例会レポート ■■■

とき 2011年10月18日(水) 19:00～

ところ 名古屋YMCA

1. 2011-12年プログラム

11月9日(水)

卓話「堀川1000人調査隊事務局長 服部 宏氏
テーマ「官民ステップアップ型協働を展開する 堀川
1000人調査隊」

司会：岩田メン スピーカー紹介：渡辺

EMC例会：積極的にゲストを勧誘する。自分・メネット
ゲストの出欠は11/8(火)午前中までに

YMCA中野さんまで連絡する。E-mail送信可能なメンバーへの連絡は渡辺会長、FAXでの連絡は加藤総主事が行う。

ノンクリスチャンのゲストへの配慮として、祈祷、聖書朗読、食前感謝のプログラムを一部簡略化して行う。

12月10日(土) クリスマス例会

谷川メンにより会場手配頂きました。今後も会場との折衝をお願いします。

場所：アイリス愛知(中区丸の内)

着席ビュッフェ形式：70名

会費：7,000円(食事第5,700円 飲み放題2hr)

南山クラブ、プラザクラブとの合同例会とする。10/12

両クラブと相談し、基本的に了解済み。

プログラム：(案)

礼拝：20分程度 西村メンにお願いする。

アトラクション 20分：小尾メン推薦のアカペラシンガーズ（ギャラ無・食事招待）

プレゼント交換：プレゼント交換を行う。1000円程度のプレゼントを持参した者が参加者。持参しない者は参加しない。抽選はビンゴで行う。司会は加藤メン。

EMC 例会：積極的にゲストを勧誘する。

同日の午前中に愛実の会クリスマス例会がある。例年ゲーム、歌などの奉仕を行なっていて、今年も行う。クリスマス例会と愛実の会クリスマス参加者は11月中に出席をとる。

※年明け以降のプログラムについて

1月11日 卓話？新年会？メンバー3分間スピーチ？；今年の抱負等（時間過不足秒×10円→ファンドアイデア有）

2月8日 佐藤夕子氏（衆議院議員）による卓話。久保田メン、平野メンが調整。卓話が困難であればオークションを行う。

3月11日 オークション。または佐藤議員の卓話が行なえなかった場合の予備。

4月11日 メネットナイト。今後メネットの意向を聞く。

5月9日 野外プログラム：色々なプランを議論、もっと案を考え検討していく。飯田さんのところでタケノコ掘とバーベキュー、ノリタケの森、白鳥公園、水族館、名古屋港クルージング等。

6月13日 委員会：今年度を振り返り、反省・評価し、次年度活動を考える。

2. EMC 活動について

11月、12月、1月 or 3月を EMC 例会にしたい。来年成瀬理事を輩出するに付き、メンバーが不足気味。将来を考えてメンバーを増やすことが非常に大事。

3. クラブ HP のメンテ

中部部会でのホームページ委員会が立ち上がる予定。五島メンが担当。

当クラブの今年度の役員等基本的な情報がわかるよう、ホームページを早急に更新する。

4. 中部・他クラブ行事等。

11月5日 チャリティーラン 例年支援している加藤さんの子どもたちは今年から不参加。名古屋クラブからは、深谷メン、千賀メンが実行委員。ラッフル券は当日販売する。

みたらし団子の手配は平野メンが行った。1本30円で700本仕入れる。+プロパンガス代。

11月12日 EMC シンポジウム

場所：愛知青年会館 時間 13：30-16：30 終了後懇談会あり。

5. その他

(1) 来年度（2012-2013）の理事輩出クラブとしての体制をどうするか、要検討。メンバーを勧誘・増強しないと人材面で不安。

12月の第2例会で2012-13年度のクラブ役員を決める必要がある。

(2) 西日本区大会の実行委員長は四日市クラブから出るが、名古屋からも出さなければならない。実行委員長は四日市ワイズ若松メン、副委員長は大西メン。

名古屋からは実行委員に小尾メンと水谷メンにお願いする。（千賀）

.....

次期西日本区理事事務局だより

理事キャビネット会議が10回を数え、準備を整えております。成瀬次期理事も部会全てに参加して、前年度から計18回出席し、知名度も着実に上がり理事への準備に余念がありません。11月には次期主任を名古屋に迎え、1月の次期役員研修に向け一泊研修を行います。また、第16回西日本区大会の実行委員会も立ち上がり、楽しい区大会を

目指し動き出しております。名古屋クラブから3人目の区理事誕生と言う栄誉を胸に日々準備をしておりますが、名古屋クラブの全メンバーの皆さんの協力あって事が成しえます。1600名の会員の皆様と楽しく、また今以上各クラブが発展するためご協力お願い申し上げます。また、当ブリテンが777号と縁起が良いこの紙面を頂戴し事務局だよりを掲載できた事、感謝申し上げます。

会計より 会費納入 のお願い	会費は月額7,000円、年額84,000円です。（功労会員と特別メネット会員は年額36,000円です）	ずつ納入される方は7月10月、1月、4月に納入して下さい
	会費の納入は右記口座へ振込にてお願いします。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるよう、お願いします。（3ヶ月分	ゆうちょ銀行 記号12120 番号82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ

ふるさと交流会 In Nissin ワイズも大活躍

10月29日(土)晴天のもと、愛知牧場で開催されたふるさと交流会 In Nissin には、地震や原発事故などで愛知県に避難、生活されておられる20世帯、70名近くの方と、ワイズメンほか、YMCA・YWCA、名古屋キリスト教社会館や日進市とその近郊の市民グループの方々など実行委員メンバー70数名がそろい、盛会のうちに開催されました。我が



名古屋クラブからは、渡辺会長ほか、五島夫妻、平野一家、相馬直前会長、西村ワイズとともに、地元の尾関夫妻も午後の教会での交流タイムに顔をみせてくれました。このように、多くの団体と協力してワイズメンズクラブが地域奉仕活動にあたるのはかつてない歴史的なことで、長谷川中部部長はその意義を高く評価されていました。避難生活を強いられておられる方が、同じ境遇の方同士、じっくりと語り合える良い機会が提供でき、大人も子どもも大いに喜ぶ一日となったようです。

(谷川 修)

今月の聖句

「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。兄弟に向かって、『あなたの目からおが屑をとらせてください』と、どうして言えようか。自分の目に丸太があるではないか。」

マタイによる福音書 7:3~4

西村 清

あなたの目におが屑が入っているから、取りのけたらどうかと言ってあげると、すぐ言い返してくる。あなたの目に丸太が入っているではないか。それを取るのがさきだろう。そういうのです。これは明らかに、この7章1節にあります「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。」ということばに対するたとえとして語られているのです。

この今月の聖句を見て、ああこれは、私たちは、他人のことをとやかく言う資格のある人間ではない、ということを書いておられるのだ。また、人間というのは、みな完全無欠ではなく、どこか欠けがある。その欠点に気付いていたら、ひとの欠けばかり、あげつらっているわけにはいかないだろう、

ということをイエスは言っておられるのだ。そう理解するのですが、本当にそういう理解で十分なのでしょうか。

事実、私たちは平気で人を裁いています。私などは車を運転していて、前にもたもた運転している車が走っていると、いらいらして、「もたもた運転するな。もっとマジメに運転しろよ」と心の中で叫びながら裁いています。そしてその車を追い越した時、ちらっと横の運転席を見て、「なんだ、年寄りか」と心の中で思い、自分がスピードオーバーで走っていることを忘れ、また自分も年寄りであることを棚にあげているのです。

それにしても、今月の聖句の前の2節に、「自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる」とあります。誰が裁かれ、誰が量られるのでしょうか。「人をさばくな」と語られている中には神について語られていませんが、ここでは神を勘定に入れ、神こそ真実に他人を裁きうる方ではないでしょうか。人間の中には、真実に他人を裁きうる者はいないのです。

神の目で見られ、その光に照らされた時だけ、自分の目に大きな丸太が横たわっていることがわかるのです。

神様のご計画

青木美知子

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。(ローマ8:28)

長女証子は幼い時から体があまり丈夫でなく、よくお腹をこわしたりしていました。思春期に入ると頭痛を訴えるようになり、中学高校と微熱が出て体調がすぐれず、不登校状態でした。大学進学を希望して予備校に通い始めた頃、食事がほとんど喉を通らなくなり、どんどん体重が減っていきました。胃カメラ検査でも重大な病気は見つからず、病院の入院検査をしても体に問題はないので心身症とのことで、心療内科を紹介されましたが、心療内科でも病気ではないとの診断でした。

何が原因が分からないまま、まともな食事が摂れない状態が続き、状況は良くなっていきませんでした。そんな頃「神様は、きっと今、証子のために手間ヒマのかかる特別なご計画を企て中にちがいない。」とユーモア交じりに話しました。

大学進学を諦め、自宅で過ごしていた時、同じ教会で家族ぐるみの親交のある中国人の友人が、証子のために週1回中国語を教えに来てくださいました。ある時、クリスチャン新聞に掲載された証子によく似た症状の女の子の記事が目にとまり、長野県の病院まで行くことになりました。そこで、それまで知られていなかった心が原因の摂食障害(拒食症)とはちがった脳の摂食中枢が原因の摂食障害の実例があることを知らされ、証子もそれであると診断を受けました。治療法はないとのことでしたが、原因が分かったことは大きな変化でした。

その1年後、いきなり食べ物が喉を通るようになりました。食べられなくなってから8年後のことでした。飢餓状態が長く続いていたので心身共にかかり弱っていましたが、徐々に回復し、父親の事務所でアルバイトが出来るようになりました。

証子の中に、これまでやれなかったことをこれからでもやってみようという心が起こり、中国留学を決めました。先の中国人の友人が以前教授をしておられた北京にある大学の語学研修コースに入学が決まり、タイミングよく家族宿舎をお借りすることができ、今年2月に一人で北京に向かいました。いざ異国で生活することは、言葉が分からない、食事合わない、で始めはかなり苦労したようですが何とか乗り越え、9月からは留学生のための4年生の学部の2年生に編入することができました。あと3年間北京で学ぶことになります。

10月の秋休みに、友人たちと夜行列車で10時間、モンゴルの草原で馬に乗り、日の出も見たそうです。数年前には考えられないことでした。先日の電話では、大学で哲学を教えているクリスチャンの先生に出会い、中国人の学生たちと一緒に部屋に招かれたそうです。その中に日本語を学んでいる学生が一人いて、証子と日本語では話すと言っていました。神様が道を備えてくださっていることを感じています。

証子は時々「どうして私は今ここにいるのだろう」と思うそうです。今後の道は全く未定ですが、神様がどんなご計画を実行してくださるのか期待しています。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。一主の御告げ、それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたに将来と希望を与えるためなのだ(エレミヤ29:11)

『ワイズメンの賢い話』(No187)

『考え直すこと』

「イエス様は、当時の偉い人たちに対して、二人の息子のたとえをされたのだよ。父親が“ぶどう園に行って働きなさい”と言ったら、兄の方は“いやです”、弟の方は“承知しました”と答えたのだよ。ところが、実際には、兄は考え直して働きに行ったのだけど、弟は働きに行かなかったのだよ。そして、イエス様が“どちらが父親の望みどおりにしたか”と尋ねられたのだよ。「その答えは決まっているじゃない。兄の方が父親の望みどおりにしたのだよ」。「そうだね。それは当然だけど、こ

こで重要なことは、兄が父親の問いに対して“いやです”と答えたにもかかわらず、その後で考え直したことだよ。私たちの人生において、成し遂げなければならないことは一杯あって、兄のように“いやです”と答えたものは多いね。だけど、もう一度、考え直してみることが重要なのだよ。考え直すことによって、これまでとは違った行動をすることが出来るのだよ。そして、イエス様は、当時の偉い人たちは、表面的にはカッコいい弟のようなものだと言われたのだよ。「そうか。私たちは、考え直すことによって、正しい行動が出来るようになるのだね」。(マタイによる福音書21章28-32節)

(寺田仁計)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

11月メネット会ごあんない

- 11月12日(土) 愛実の会奉仕
担当 加藤(朱)、尾関、久保田、深谷
- 11月19日(土) メネット例会
1. クリスマスオーナメント続き、仕上げ
2. 愛美クリスマスについて
ところ 名古屋 YMCA
時間 10:00 ~ 14:00
持ち物 木工ボンド、つまようじ、はさみ、えんぴつ、クリスマスオーナメント作りですが今月のみ参加でも、十分間に合います。奮ってご参加をお願いします。

「尾関さんが保管されていたブリテン・バックナンバー」



1960年代(メネット会初期)は、古くなり別にファイルしました。1970年代以降分をご承諾を得て、製本させて頂きました。それ以前の13年分は当クラブにも残っていないようです。(伊左治さんのお世話になりました。)

メネット 10月例会報告

日時: 2011年10月15日(土) 11:30 ~ 14:00
場所: 名古屋 YMCA
参加: 伊左治 尾関 小尾 加藤(朱) 加藤(邦) 飯田

小雨ふる足元の悪いなか6名の参加がありました。はじめに、11月愛実の会奉仕担当者のご確認などを行い早速作業にとりかかりました。今日の講師は、小尾メネットにお願いしました。材料は予め小尾メネットがキットを各自に、用意して下さりスムーズに進めることができ、楽しい雰囲気なかで取り組みました。出来上がったものは、愛美のクリスマスとき、メンバーの方たちへのプレゼントにしたいと考えています。

オーナメントは、各自3ヶ用意されていましたが、当日出来上がらなかった残りは、宿題でやってもよいし11月のメネット会に持ち寄ることになりました。その後遅い昼食をとり、今回は伊左治メネットがお弁当を調達して、伊左治メンがわざわざYまで届けて下さいました。差し入れのデザートもいただきました。

小尾さんのキット(細かいパーツをたくさんカット)の用意大変だったと思います。感謝でした。

また機会がありましたらよろしくお願いします。

(飯田)

長井衣世さんの住所がわかりました。

〒468-0054
名古屋市天白区横町201 天白第3住宅3棟1003
TEL 090-6619-8063

ハッピーバースデー

メ	ン	メ	ネット
11月14日	飯田和也君	11月3日	小尾昌代さん
		4日	長井衣世さん

Happy Wedding Anniversary

11月3日	鈴木武二・侯子夫妻
8日	飯田和也・純子夫妻
11日	加藤 晃・邦子夫妻

BF

切手(10月分)	
木本精之助君	110pt
計	110pt